



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2030

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 田中 健志
幹 事 金本 善行

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Building Communities Bridging Continents

「地域を育み、大陸をつなぐ」

本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

「ロータリー親睦活動月間」

2011年6月2日 第2006回例会

◆ 会長時間 ◆

田中会長



6月は「ロータリー親睦活動」月間です。本日ロータリー情報をお話するための俄か勉強で初めて後述のことを知り、自らの不明を恥じております。クラブ会員同士の親睦

を深める呼びかけが目的あり、単に親睦活動という言葉から、「クラブ奉仕」の範疇だと思っていましたが、「国際奉仕」の一部分です。

ロータリーの創始者ポール・ハリスが「親睦は素晴らしい。それは人生の小道を照らし、喜びを広げます。大変価値があります」述べていることから始まったようです。最初はエスペラント語に関心を持つロータリアンが集まったことをきっかけに、1928年に非公式に始まりました。1947年には、ボート愛好家のロータリアンがヨット親睦グループを結成しました。

「ロータリー親睦活動」は、2010年12月1日現在で約55の親睦グループがあり、趣味や職業活動を通じて、国際親善と奉仕に貢献しています。より多くのロータリアンが、親睦活動に参加することを奨励するために、この月間が設けられました。尚、当クラブの彌山クラブは、RI2710地区

で唯一RIに認定されている親睦団体になっています。

ロータリー親睦活動グループには、以下のような意義があります。

- クラブ、地区、国を越えた末永い友情を築く機会となる
- 世界理解と平和の推進に貢献する
- ロータリーに新会員をもたらし、現会員を維持する役割を果たす

長期わたり続けられたこれらのグループ活動は、注目を集めるようになり、「世界親睦活動」「国際職業別連絡グループ」「ロータリー趣味および職業親睦活動」と名称を変え、最終的に「ロータリー親睦活動」となりました。

● 会務報告

金本幹事

※例会臨時変更

- | | | |
|----------|--------|----------|
| 6月27日(月) | 広島中央RC | 夜間例会に変更 |
| 6月29日(水) | 広島東RC | 休会 |
| 6月30日(木) | 広島北RC | 夜間例会に変更、 |
| | 広島安佐RC | 休会 |

※例会終了後、4階「松の間」において6月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

● 委員会報告

出席報告 羽井委員

本 日 (6月2日・木曜日)

会員数 83名 出席者 68名

欠席者 15名 ご来客 3名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 71名

前々回(5月19日・木曜日)

出席率 98.78%

※ 諏訪昭登 P D G



ニューオーリンズ国際大会報告

RI第102回年次大会が、米国ルイジアナ州ニューオーリンズで16,000名のロータリー関係者の参加を得て5月21日～25日まで開催されました。

日本人3人目のRI会長予定者として田中作次氏が、正式にノミニー（2012～13）承認されました。

本年から当第2710地区は、80余のロータリープロジェクトのブースの一つとして「広島平和レポート」のタイトルで出展しました。

皆様にも懐しい私の年度の大会記念事業「8言語説明板」ほか、多くの平和関連資料が展示され、来訪者の反応も上々でした。次のバンコク大会へも出展予定なので皆様のご参加を期待します。因みに私は次年度バンコクRI大会の地区推進委員長でありますので、よろしくご協力のほどお願いしておきます。

ニューオーリンズ国際大会で交換したバナー2枚と、6枚の写真を回覧します。

バナーの一つはロシア他のRID2220で47RCもあることに驚きました。

あと一つはフランスのワイン名産地ロワール地方のショレーRCのものです。

写真はRI会長関係の方々は大変気さくに撮影に応じて下さるとの実証として回覧いたします。

● スマイルボックス

S A A 堀江副委員長

😊 山木靖雄君（自主申告）大枚

このたび中華民国（台湾）政府から「外交奨章」を授与されました。孫文の建国から100年を記念して地方の日華親善協会の会長を10年以上務めた20名が招待され、5月26日台北の外交部での式典で楊進添外交部長（外務大臣）から奨章を手渡されました。広島県の会長として台湾との友好発展をより一層進め、文化、経済、スポーツなどの交流を拡充していきたいと思います。今回の東日本大震災でも台湾からの義援金は海外から最大で170億円を超えており、その友情に感謝、感激しています。

😊 前橋寛君（自主申告）大枚

このたび三洋スーパースタンド(株)の代表取締役役に就任いたしました。かつてない不況下での交代となりましたが、広島西クラブの諸先輩に学び、ロータリー精神を実践して乗り越えて行きたいと思います。

😊 羽井紀行君（自主申告）金一封

このたび商工センターの協同組合、広島総合卸センターの副理事長に就任いたしました。業界の繁栄と発展のために頑張ります。

● 第12回理事会議事録

と き 2011年6月2日(木) 13時40分～15時10分
ところ ANAクラウンプラザホテル広島4F「松の間」

報告事項

・ 合同幹事会報告

（小橋副幹事）各クラブ毎に、クールビズについて情報交換が行われた。

2月26日に開催されたインターシティ・ミーティングの剰余金は、各クラブに返還することに決定した。

・ 新会員の従業員例会招待報告

（前橋理事）活動報告書に基づき報告。

・ 鈴峯学園教育フォーラム報告

（柴田理事）活動報告書に基づき報告。

・ インターアクト指導者研修会報告

（柴田理事）資料に基づき報告。

・ 事業報告書(あゆみ)の提出進捗状況について

（金本幹事）22委員会の内6委員会が未提

出のため、各理事に提出を要請した。

・その他

台南RCより東日本大震災義援金（60万）の取扱いについて

（田中会長）久慈ロータリークラブとのマッチンググラントが、実現した場合は、その支援金とし、広島西ロータリークラブとしても協力する。

審議事項

- ① 前回議事録の承認（全員一致で承認）
- ② 本年度決算見込みについて（全員一致で承認）
- ③ 新会員及び退会承認について
大西会員及び池田会員の退会（全員一致で承認）
新会員候補者につき全員一致で手続き開始の承認
- ④ 楠原事務局員の昇給について（全員一致で承認）
- ⑤ 今年度の監査人について
安部会員を任命する。（全員一致で承認）
- ⑥ 臨時理事会開催について
7月14日(木)12時 決算承認の件
- ⑦ 出席免除について
村上智亮会員の出席免除（全員一致で承認）
- ⑧ 広島西ロータリークラブ就業規則について
最新の労働基準法に基づき変更制定（全員一致で承認）
- ⑨ 広島西ロータリークラブ給与規定について
（全員一致で承認）

次回開催日 平成23年7月14日(木)12時00分～
例会場前

■ 卓 話



もう一度家建てたい

垂井 俊郎 会員

卓話、アーカイブは、入会時に『人間の学び』を、ロータリーで、『時間・空間・建

築』は、座右の銘とし『建築とゲニウス・ロキ』、自然への畏敬の念から、『平和への遺産・原爆ドームと聖堂』、平和文化都市広島を誠実にとらえる教訓、その他「クラブ25周年記念モニュメント・コンセプト」、プログラム委員の総会時「COP3と持続可能社会」、R財団「RIの人道的プログラム」、「職業とプロフィール」、40周年記念誌の孫との宮島写真「時空を、共に楽しむ」、「パパたいむ」なども話す機会をいただきました。今回は「これからの建築的思考」、「3・11とこれから」卓話の題目は「もう1度家を建てたい」は、被災地の女性の笑顔と、ことば、をいただきました。

■3・11の、M8.9震源は日本海溝、牡鹿半島沖合40km、プレートは東に5.4m、0.9m沈下した、史上最大の地殻変動、加速度は600ガル以上か、津波は20km/h、速さの圧力で、海洋構造物防波堤・護岸、巨大船を陸に打ち揚げ、水産施設もろとも根こそぎ、生活の場、生きた証を、のみこみ、半農半漁の里を喪失した。

東日本大震災の被害者数は死者1万5245人、行方不明者8594人、避難状況は10万2391人（5月27日現在、警視庁まとめ）である。

■原発「電源喪失」なぜ、「海水を注入し即、廃炉にするしかない」と物理を選考した甥は言った、原発は人災か、人間の制御不能の放射能を吹き出す怪物と化けた。

「震災復興の形を見出したい」と仙台の友人に声をかける、次に「過ちを繰り返すな」をどう伝えるかを忘れるな、被災地の声「もう一度もとのところに家を建てたい」と、語る女性の顔と、ことばに、僕は、救われ、ほっと楽になった。

◇ちかごろ「元気がない、どうも日本はおかしいぞ、今はつくるべきでない」と言ったりもした。3・11が起きていた、罰があたった（オフレコ）、三重四重苦の惨事だ、だれかれと批判しても、しょうがない、津波は解っていたのだ、兆候はあったのに。

◇「想定外」と言われた震災、平安時代にも海岸線から数kmまで大津波がさかのぼっていた、仙台平野に埋まる土砂が今に伝える教訓である。研

究者は2年前、原発関係者が集まる席で報告していた、無関心が怖い、「関心を持って、イメージを大切に」誠実に努めてほしい。人間の能力では制御できない巨大科学なのか、原発、人間の問題だ。人類の歴史は地殻変動の歴史と言える、その過程で人類が発生し、進化してきた。

◇夢のある話に変えましょう、あれから結婚したい、人の絆を命を大切にする、子孫、生命保存の法則か、喜ばしい、経済上向き、「美しい瀬戸内を」「これから広島に国府の1/3を、都市の再生を懸けて」地域の力を生かしたいと思う「ふるさとの山に向かいて言うことなし故郷の山はありがたきかな」夢をみんなで共有しよう。

「夢と希望とサブマネー」チャリィーチャップリンのことはいただきます。

◇何をなすべきか、プロは、自らの責任感で方向性と道筋を図り、今と先の判断を、全体性と現実化を計ることだ。明確な国家理念を目標と軸を示す、世界が注目し、流動化している今、日本は試されている、革新の理念「時間・空間」を見極める時、歴史を見通す知力、現実に向かう決断の行動力が求められる。

◇いざというとき民を守ることは国の責任、「住」の確保、生存権は憲法25条。建築基準法第一条「命と健康、財産の保全、ひいては公共の福祉に資する」とある。建築基準法は1950年最低を定めた法令・行政による行政のための、から地方主権に脱皮制度疲労だ、ものづくりの、地域ごとの、社会規範が求められる。

◇復興構想会議の1次提言の意向は「根こそぎやられる災害はもう終わりにしたい」イメージは思い描いたものである。「元のところにもう1度家を建てたい」の声を、

西日本で被害が想定される東南海・南海地震はいつ来てもおかしくない。

◇『今から始めよう』新しいまちづくり仕組みを、将来世代への付け回しは限界だ。

これからいかに省エネで生活をするか、自然エ

ネルギーの活用を図るか、小水力発電は小川、水路で可能だ、瀬戸内は太陽光で3から7kw/h、小風力も家庭の消費電力は賄える、これからはバイオマスが面白い、地球にやさしいと、実弟は言う、国際藻学会の渡辺教授は1977年の赤潮の研究から藻類オイルの生成に成功した。地熱も潮流も立地特性の自然エネルギー、なんとかCOP3順守しよう、知的価値を共有し、ロマンチズムの姿勢と、歴史的使命感を持って始めたい。

◇日本は平和な国、世界3位、アイルランド、ニュージーランドに次ぐ、平和都市広島は誠実に再生、いま再び、サスティナブルな「夢の広島」に再成長させましょう。

□わたしの事務所の「CAFの意図」は、たのしく、自由に、想像すること。であり、創られたものは（建築だけでなく）、たのしく、自由な、ものを想像すること、です。

その思考のゆくえは、サスティナブル「持続可能社会の建築」都市住宅を軸にして、ガイヤの世界、空間と時間を自由に、快適に、これまでの形式にこだわらない、地球の、地域の、ひろしまの、ところの、大地に、自由で楽しい空間をつくりたい。

□2007年に完成した「ハウス・バーン・フリート：戸坂数甲」は時代の作品です。建築家を天職として、誠実に、自分の眼で、自分の頭で、無我夢中で築いた仕事です。

□いま、作品名「再び、ひろしま」のオマージュ、の公開に向けて働きかけています、作者は、建築家・丹下健三の愛弟子で建築家・磯崎新さんのオリジナル作品であります。これからも、みんなの広島のためにがんばります、ご指導ご支援をお願い致します。

● 卓話予告

日時	テーマ
6/16(木)	委員長退任挨拶